

家庭学習の手引き

保護者の皆様へ

学校では、子どもたちの学力向上に取り組んでいます。そのためには、保護者の協力が必要です。保護者と協力し合うことで、さらに子どもたちの力は何倍にも高められます。家庭学習の習慣を身につけさせるために、活用をお願いします。

家庭学習をすると・・・

- ①学校で学習した内容をより確かなものにします。
- ②家庭での学習習慣が身につきます。
- ③自ら学ぶとする態度や学習に対する自信が身につきます。
- ④がまん強さ・根気・集中力が身につきます。
- ⑤家族がふれあう機会となります。

➡ 生涯にわたる「学び」へとつながります。

1 家庭学習を習慣化するために

《学力アップは規則正しい生活から》

- 早寝・早起きをし、朝食は必ずとりましょう。
- 毎日、少しずつでも運動をしましょう。
- テレビやゲームの時間を話し合しましょう。
- 家族の一員として、お手伝いに取り組みましょう。
- 学習に取り組む時間帯を話し合しましょう。

《勉強するときは》

- 学習するときは、テレビを消しましょう。
- よい姿勢で学習しましょう。
- 机の上をきれいにしてから学習しましょう。

《時間のめやす》

- 低学年・30分、中学年・40分、高学年・60分をめやすにしましょう。
- 保護者とよく話し合って決めましょう。

⑮ くしゅうを、かいて、ちゃんと！
小さな⑮も量ねが大切です！



2 どんな学習をすればいいの？

- ①学校からの宿題
音読、漢字・計算練習
(ドリル・プリント) 日記など
- ②自主学習
授業の復習・予習
興味のあることを調べることなど

《国語》

- ・漢字練習・音読
- ・視写・日記
- ・読書
- ・意味調べ
- ・言葉の使い方調べ
- ・テストに再チャレンジ
- ・文や詩の暗唱

など

《算数》

- ・計算練習
- ・計算ドリル
- ・百マス計算
- ・図形をかく
- ・自分で問題をつくる
- ・テストに再チャレンジ

など

《その他》

- ・各教科の復習
- ・学習に関係することがらを聞いたり、本や新聞、地図などで調べ、まとめる。
- ・自然や生き物とのふれあい、観察したことをまとめる。

など

3 各学年で身につけたい力 (国・算)

《習慣づけの1年生》

- 鉛筆を正しく持って、姿勢よく、ていねいに字が書ける。
- ひらがな・カタカナを、読んだり、書いたりできる。
- のびす音(長音)、小さい「ゃ・ゅ・ょ」(拗音)、小さい「っ」(促音)「ん」(撥音)、助詞(は・へ・を)を適切に使い分ける。
- 声を出して、はっきりと読める。
- 80字の配当漢字のすべてが読める。
- 数を10のまとまりとしてみるができる。
- 1けたや簡単な2けたのたし算・ひき算ができる。
- 長さくらべができる。



《逃げない子にする2年生》

- 160字の配当漢字がすべて読め、1年生で習った漢字が書ける。
- 順序を考えながら、読んだり、書いたりできる。
- 10000までの数のあらわし方やしくみがわかる。
- 2けたや簡単な3けたのたし算・ひき算ができる。
- 九九がすらすら言える。
- 長さ(mm, cm, m) 体積(ml, dl, l) 時間(日, 時, 分)の単位がわかる。

☆保護者とのふれあい・ステップ！

保護者は子どもに「目をかける」宿題は保護者の目の届くところで励みながら



《分岐点乗り越える3年生》

- 200字の配当漢字がすべて読め、2年生までに習った漢字が書ける。
- 国語辞典を正しく使える。
- 場面の様子がよく分かるように声に出して読める。
- 文の意味を考えて、句読点を適切に打てる。
- ローマ字を適切に読み書きできる。
- 3けたや4けたのたし算・ひき算ができる。
- 2けたや3けたのかけ算、わる数が10までのわり算ができる。
- 長さ(km) 重さ(g, kg, t) 時間(秒)の単位関係がわかる。
- 数直線上に小数を表したり、小数のたし算・ひき算をしたりできる。



☆保護者とのふれあい・ジャンプ！

保護者は子どもに「心をはかける」宿題以外の学習に挑戦できるよう知的な好奇心を育てよう

《学力の差がつく5年生》

- 185字の配当漢字がすべてが読め、4年生までに習った漢字が書ける。
- 目的に応じて、音読・黙読・速読・朗読などの読み方ができる。
- 目的や相手、種類や方法を考え文章を書く。
- 10倍、100倍、10分の1、100分の1の数を求めることができる。
- 小数のかけ算・わり算ができる。
- 分数のたし算・ひき算、簡単な分数のかけ算・わり算ができる。
- 平行四辺形、三角形、台形、ひし形の面積を求めることができる。
- 立方体、直方体の体積(cm³、m³)を求めることができる。



《中学校への希望もてる6年生》

- 小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、5年生までに習った漢字が書ける。(6年生は181字)
- 文章全体から、書き手の述べたいことを読み取ることができる。
- 事実と自分の考えを区別して書くことができる。
- 分数のかけ算・わり算ができる。
- 等しい比で表すことができる。
- 速さを求めることができる。
- 円の面積や角柱、円柱の体積を求めることができる。